

静岡県立三島南高等学校第3回学校運営協議会議事録

1 開催日時

令和5年11月11日(土) 開会：午前10時50分 閉会：午後12時7分

2 開催場所

静岡県立三島南高等学校 会議室

3 出席委員数

5人 会長 三田 章裕・副会長 今村 貴幸・委員 鈴木 廣幸・委員 大嶋 孝博
委員 富田 奈緒美・委員 村上 利恵子

4 校長挨拶

- (1) 本日は、制限のないオープンスクールで多くの中学生・保護者が来校している。
- (2) 現1年次生に中学生の時に進学先を決めた理由をアンケートした結果がまとまった。「学力が合っていた」が一番の理由、「校風・雰囲気」が良い・「部活動」をしたい・「一日体験入学」で良いイメージを抱いた順になっている。
- (3) 入学後に対する学校のイメージの結果「明るい・文武両道・部活動が盛ん・学校生活・明るい人・オンオフがしっかりしている」などの印象を持っていた。
- (4) 明日、女子バレーボール部が全日本バレーボール高校選手権(春高バレー)の決勝戦で富士見高校と対戦する。
- (5) 課外活動についても、地元地域、県内外や海外において生徒たちは活発に活躍をしてくれた。最終的な目標として、校内で自走できる力を身に付け、地域など自ら活躍の場を求め、どんどん外に出て活躍して貰いたい。

(三田会長)

- (1) 学校は本年度も後期に入り3年次生の進路先が気になる時期となった。これまでと同様にきめ細やかに、そして丁寧に生徒たちの個々の進路指導を行い、卒業する際に、三島南高校で学んで良かったという思いを持って巣立たせる半年間にして貰いたい。
- (2) 令和4年度の不登校の児童生徒数が発表になった。全国の小中学生30万人(前年プラス5万人)、高校生6万人(前年プラス1万人)という数字に驚いた。三島南高校でも不登校などが喫緊の課題であると思う。少し苦しそうな生徒が居たら個々に対応して貰いたい。

5 議事

(久保田副校長)

- (1) 令和5年度進路課の取組(方針・重点目標・具体的な方策・進路実績・課題)の説明をした。
- (2) 中学校訪問をした時、三島南高校を卒業すると「就職か短大に進学するイメージ」を持っていた。四年制大学が主流(6割)であることを伝えたら驚いていた。

(大嶋委員)

教員の多忙を解消するため、外部委託等は出来ないのか?

(鈴木校長)

専門学科で就職する生徒が多い高校においては、外部人材を活用している例はあるが、大学進学(面接)の指導において、外部人材の活用は難しい。(高校時の強み・

志望動機・進学後の夢などの指導が多岐に渡るため)

(今村副会長)

面接試験を実施する立場としては、受験生が自分の進む学部学科を理解しているか等を聞いている。進学の面接に関しては、学校の先生の指導の方が良いと思う。

(三田会長)

学校運営協議会の委員も何か協力は出来ないか？

過去の先輩方が面接等でどの様な事を聞かれたかマニュアルはあるのか？

(鈴木校長)

受験者には受験レポートを書かせており、進路資料室の過去の資料を閲覧できる。

(鈴木委員)

三者面談の際に学級担任から目標を高く設定するよう、アドバイスなどをした方が良いのでは？

(鈴木校長)

生徒の進路希望を尊重しながら指導しているが、あまり尊重し過ぎるのではなく、もう一段階上のランクにチャレンジさせる指導方法を職員研修で充実させて行きたい。

(三田会長)

中学校では、以前は40～50歳代の教員が進路指導主事を担当していたが、現在はその世代が薄く、30歳代の教員が担当していることが多い。経験の浅い教職員には、正確で正しい情報が集まっておらず、副校長から先ほど報告のあった「進学実績」の認識に隔たりが生ずると考えられる。このため、中学校側の教職員の意識を変えていく必要がある。

(鈴木校長)

今年度初めて中学校教員向けの説明会を実施した。参加者は10名程度と少なかったが、この様な取組を地道に続け、1人でも多く本校教育活動の応援者を増やしたい。

(富田委員)

(3) 令和5年度PTAからの意見として、次の4項について説明をした。

ア 他校の先進的な取組みなど、積極的に検討して実現してほしい。

イ 常任委員の意見をPTAの意見とするのではなく、全保護者から意見を集めてほしい。

ウ 自転車に乗る際のマナーを指導してほしい。

エ 長期休業中電話が繋がらず困った。確実に伝えられる連絡方法を検討してほしい。

(鈴木校長)

毎年1年次生が「交通安全教室」を実施し、三島警察署の警察官及び交通指導員から自転車の乗り方や事故の発生状況等の説明をして貰っている。今年度は、ヘルメット着用についての話があった。家庭においても、それぞれの登下校の環境等に応じて、交通安全の指導をしてほしい。

(久保田副校長)

上記4項目以外として、①熱中症対策②制服購入金額の高額という意見がありました。熱中症対策としては、5月に運動部連絡会を実施し、各部活共通認識の元に熱中症対策を講じるように指導を行っている。

(予防：十分な水分補給・睡眠・食事の重要性、対応：リンパ節を冷やす・流水をかけ続ける・救急車要請、管理・記録：熱中症指標計を活動日に記録、緊急時：アクションカードを活用し複数で対応)

(村上委員)

体育館の活動で、風も通らなかつたり籠ってしまつたりして、活動していた生徒が何回か頭痛を訴えていたと聞いていた。この様な対応を取っていたことを知らなか

ったが、生徒でも対応できる体制になっていたので安心した。

(三田会長)

P T Aから熱中症対策に不安な意見が出ることは、多くの保護者が未だに学校の熱中症対応策が十分に伝わっていないためである。学校側へのお願いとして、①顧問から生徒に確実に伝えること②学校から保護者に熱中症対応策の説明を行うこと、以上を、今後も継続した対応が必要となるので対応をお願いしたい。

(久保田副校長)

本校の制服の販売価格は、三島田方地区の各学校と比較しても高い状況です。現在、新機能に対応した制服（価格据え置き・ウォッシュャブル・防シワ・撥水撥油等）の検討を行っている。

(鈴木委員)

三島南高校の制服は、森英恵さんのデザインですか。

(久保田副校長)

はい。

(大嶋委員)

協議会として、学校運営協議会としてP T Aの方に回答をしないといけないのか。

(鈴木校長)

次のように学校として回答することもできる。

上記アについては、三島南高校に導入すべき良い取り組みがあったら検討して行きたい。

上記イについては、例年 Google classroom（グーグル・クラスルーム）を利用して年度末の評価で保護者からのアンケートを実施しているため、全保護者の実施は可能である。実施する場合は、常任委員会として実施方法を検討してほしい。本年度は、保護者に何回もアンケートを実施するのは負担となるので、保護者の代表である常任委員会から意見を伺ったと、という経緯を含めて検討していただきたい。

上記ウについては、毎年、1年次生が「交通安全教室」を実施している。今年度は主に自転車のヘルメット着用の効果について話があった。今後も交通安全教室やマナー向上の指導を継続していく。

上記エについては、C-learning（シーラーニング）を活用して補講等の欠席連絡を受けている。徹底されていない面もあるので今後徹底していく。

(三田会長)

学校運営協議会は、校長の学校経営方針・人事等に「意見を述べる事が出来る。」立ち位置のため、決定権も無いので出された意見に対して回答することは難しい。

3 報告事項

(佐々木教頭)

令和5年度部活動結果及び生徒校外活動について説明する。

4 閉会（今村副会長）

今後の予定

第4回 年間反省、学校評価、課題について協議

2月20日（火）または22日（木）11:00～13:00 または 13:30～15:30